

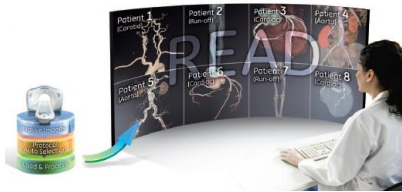


AW VolumeShare7は、精度の高い自動機能と、簡便で確実な編集機能をベースに、3D解析を数多くこなす臨床現場のワークフローをとことん追求した最新のワークステーションです。

進化したユーザーインターフェースにより、よりシンプルな操作でお使いいただけるようになりました。

Auto Launch

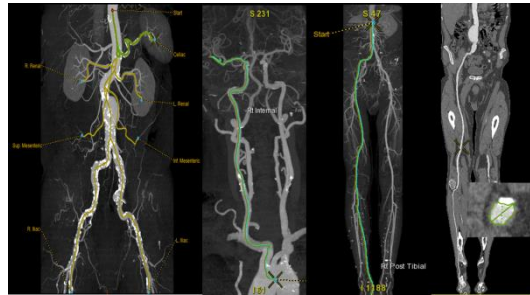
Auto Launchは、複数症例の撮影部位を認識し、バックグラウンドで骨削除や心臓解析まで行う機能です。この機能によって、患者選択からプロトコル起動、症例によっては自動セグメンテーションまで終了した状態で待機しているため、特に3D解析を数多くこなすご施設では、大幅なスループットの向上が期待できます。



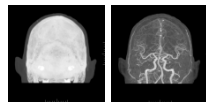
Vessel Tracking

AW Volume Share7では、血管トラッキング機能をさらに強化しました。ゼロクリックでの血管トラッキング、血管名のラベリングが可能となり、さらに効率よく血管解析を行うことができます。

また、解剖学的に複雑な頭頸部領域でもリアルタイムトラッキングを用いることにより、血管名を指定するだけのシンプルなワークフローになっています。



AutoBone Xpress



AWではAuto Remove Boneの1クリックで体幹部領域だけでなく、頭頸部領域においても骨削除が可能です。頭頸部領域は、解剖学的に非常に骨が厚く入り組んだ構造のため、骨除去が困難な部位とされてきましたが、AWの優れた血管抽出能力を生かし、血管を認識して骨削除を行うため、AWではどなたが使用されても高精度の自動骨除去を可能にしました。

Auto Select



構造物をクリックすることにより、選択的に血管や臓器を抽出、削除する機能です。AutoSelectは、以下のように構造物の特長によってモードが異なり、より精度の高い抽出を可能としました。

- **Any Structure:** 大血管や結節など比較的大きい構造物
- **Small Vessel:** 椎骨動脈や下肢動脈、のような微細な血管
- **Bone:** 骨

また、病変や撮影状況によりAuto Boneなどの自動機能が完璧でない場合でも、簡単に修正することが可能です。

Advantage Workstation Volume Share7 XT

製品スペック

Z820 Workstation (ヒューレット/パッカード 社製)

CPU: Two Intel Xeon E5-2630 Six Core 2.6 GHz CPUs 15MB Shared L3 Cache each

RAM: 32GB DDR3

磁気ディスク: 内蔵型 300GB×1, 300GB×2

DVDドライブ (内蔵形, DICOM CD/DVD/読み込み・書き込み)

マウス: ホイールマウス

画像格納数

画像格納用磁気ディスク: 600GB

約4,608,000画像(256マトリクス)

約1,152,000画像(512マトリクス)

約288,000画像(1,024マトリクス)

約57,600画像(2,048×2,560 イメージ)

カラー液晶モニター

19インチ カラー液晶モニター

解像度: 1280×1024

表示色 1,677万色

画像ピッチ0.2805mm

水平周波数 31.0～81.1KHz

垂直周波数 50.0～85.0Hz

輝度: 240cd/m²



標準搭載ソフトウェア

ソフトウェア名	機能	詳細
Volume Viewer	3Dソフトウェア	標準的な3D作成ソフトウェアです
Auto Launch	ポストプロセッシング機能	自動骨削除、冠動脈解析などをバックグラウンドで処理する機能です
Auto Select	自動抽出ツール	血管や骨などの構造物を選択的に抽出・削除する機能です
Auto Contour	自動抽出ツール	境界面を認識し、選択した構造物を抽出・計測する機能です
AutoBone Xpress	自動骨削除機能	骨を自動削除する機能です
VesselIQ Xpress	血管解析ソフトウェア	血管の内腔面積等を計測するソフトウェアです
Dynamic Shuttle	4D撮影処理機能	Volume Helical Shuttle等の4D撮影画像を処理する機能です